事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		道路台帳整備事業				②事業番号		5104	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		一 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 条例		○ 規則		○ 要綱	
⑦実施手法		○ 直営		○ 全部委託		○ 一部委託		○ 補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款 7		項 2		目 4		細目 1	
⑨担当部名		⑩担当課名		会計		一般会計			
都市整備部		道路課							

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市管理道路	① 市管理道路延長	Km
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
泉南市が管理する道路及び構造物・附属物等の把握、並びに管理事務を円滑に遂行するため、道路台帳及び附属物調査を作成する。	① 道路台帳更新延長	m
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
新たに認定された市管理道路について道路台帳に反映させるため、更新対象路線の測量及び調査を行い、道路台帳の加筆修正を行うものである。	① 道路台帳整備済延長	Km
	計算式	
	②	
	計算式	
	③	
	計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
道路台帳を整備することによって、適切な道路管理を行うことができる。	政策(章) 5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
	施策大(節) 2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします	
	施策中 1 道路の整備	
	施策小 2 身近な道路の整備	

【2】各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	市管理道路延長	Km		211	211	213	—	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①	道路台帳更新延長	m		2,665	530	1,750	—	—	
活動指標②									—
活動指標③									
成果指標①	道路台帳整備済延長	Km		211	211	213	—	—	
成果指標②									事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人	0.30	0.17	0.19	0.19		
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,410	1,365	1,540	1,540		
	直接事業費	千円	3,348	3,348	3,348	3,588			
	総事業費	千円	5,758	4,713	4,888	5,128			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	5,758	4,713	4,888	5,128			

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	道路法に道路台帳の整備が義務付けられているため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	現在、道路台帳の一部につき電子化を行っているが、今後、道路台帳の閲覧の簡素化等に対応するため、すべての情報の電子化が望まれる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	道路の維持管理を行うためには必要不可欠なものである。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	道路は不特定多数の方が必要とするものであり、市の財産として適正な管理をする必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	道路法に基づいて行っているものである。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	適切な道路の維持管理に支障がある。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

B

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	道路台帳の更新は毎年できているが、電子化が進んでいない状況である。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし ウ. できる イ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	台帳の全ての情報を電子化することによって、以降の更新作業のコスト削減が可能であると思われる。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	道路法に基づいて実施しているものである為、今後も事業を進めていく必要があるが、台帳更新の効率化を求めていく必要がある。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p style="text-align: right;">ウ. 終了 (___ 年まで)</p> <p style="text-align: right;">エ. 休止 (___ 年から)</p> <p style="text-align: right;">オ. 廃止 (___ 年から)</p>
a	<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	集中的にコストを投入し、台帳の電子化を推し進めていきたい。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	電子化するための財源確保が課題である。